

ミアヘルサ保育園ひびき水元 R7年度すくわくプログラム 報告書(2回目)

【テーマ】 ボール ～野球を通じて体幹を鍛えスポーツを好きになろう～

【日程】 R8年1月15日(木)、19日(月)、20日(火)

【準備するもの】 わら半紙、新聞紙、模造紙、ガムテープ、カラーガムテープ、ビニールテープ、マスキングテープ、シール、マジック、段ボール、はさみ、のり、セロハンテープ、透明テープ、段ボール、牛乳パック

【環境設定】 15、19日：室内 20日：室内→園庭

【実施内容】 ●→コーチの言葉 ■→保育者の言葉 「」→子どもの言葉 気づき→◎

① My ボールを作ろう

- ・1人がわら半紙を手にとると、次々にわら半紙を手に取り、各々に丸め始める
- ・1人が新聞紙の存在に気づき、他の子より大きいものを作り始めると、数人が新聞紙を手にとる

■(子どもたちがただ丸めたものを見て) そのままだと広がっていっちゃうんじゃない?

「テープでとめたい」

→思い思いのテープを使い、とめていく

- ・うまくガムテープが切れない子は椅子や床に貼ってから切ってみようとする
- ・友だちと協力してガムテープを切ってみようとする



◎一人では難しいことも誰かに助けをもらうとできる

「どんどん大きくなってきた!」「わたしは小さくてもいい」

「ガムテープ切るの難しい・・・」



- ・ある程度大きさが定まってきた子からマスキングテープやシールなどで飾りつけをする

「OOちゃんみたいのにしたい!」「作ったやつを投げたい!」

- ・My ボールが出来上がった子から、実際に投げて遊ぶ



② どうやったら遠くまで投げることができるか、みんなで考えてみよう

「バットで打つ」「まっすぐ投げる」

■まっすぐ投げるのは、どこからどの方向に向かって？

「上から投げる」「まっすぐ前に投げる」

③チームごとの的を作ろう

■チームの友だちの意見を聞きながら作ろう

■チームのみんなが良いと思うものを作ろう

■どんなものを使って的は作れそうかな？

→的ってどんなもの？

「数字が書いてある」「穴が開いているものもあるかも」

- 大きな紙（ポスターの裏紙、模造紙）からグループで素材を決めて的作り開始
- 切り抜きを貼ったり、数字や自分の名前、好きなイラストを書く
- 穴を開ける

■（床に置かれた的を見て）、これだと上からボールを落とすことになっちゃうね

「壁に貼ったらいいんじゃない？」「わたしが持っていようか？」「先生持ってて！」

- 1人で大きな的を持つ
- 2人で協力して大きな的を持つ
- 的をセロテープで壁に貼る
- 的からの距離が近い状態のまま、しばらく My ボールを投げるが続く

■これだとコーチが言っていた“遠くに投げる”にならないね

- 部屋の端に行き、少し距離を取ろうとする

※年少・年中の広いお部屋に移動

- 移動後、どのように的を固定したらいいか分からなくなる

「段ボールとかあったらいいのに・・・」「紙を3枚重ねてそこに的を貼りたい」

→段ボールや牛乳パックを用意

- 自分たちで段ボールを組み立てたり、重ねたりして高さを出そうとする



◎段ボールよりの的（紙）の方が大きいことにより、うまく的が立たないことに気付く

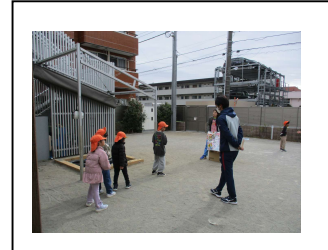
→ガムテープで貼ったり、牛乳パックで支えを作ったりする

④ My ボールを的に実際に当ててみよう

- 園庭に的に置いてやってみると、風で倒れてしまう

◎壁の近くに的に持っていくと倒れない

◎的が低いと投げにくい、当てにくい



【振り返り、子どもたちの気づき】

●実際に投げしてみると、大きいボールはうまく投げることができない

●平面の的に床に置くと“遠くへ投げる”は実現できない

●“遠くへ投げる”を実現するためには、壁に貼ったり立体にしたりするなど距離をとる方法が必要である

●段ボールより紙が大きいと、はみ出た部分がなくなってしまい的にならない

●的が風に煽られて倒れてしまう時は、壁に立てかけると倒れにくい

●一人では浮かばないアイデアを友達が提案してくれたり、友達と協力したりすることでイメージしたものが実現できることがある

【次回に向けての取り組み】

●My ボールを使ってボールに触れ遊ぶ（左右握り替え、足の下で八の字、おなかの周りをまわすなど）

●My ボールやほかのボールを使用して玉入れや的に当てをグループで行う

→どんな発見があるか？

→ボールが当たった、入らなかったなどの経験をする中でどんなことを考えるか？